



同志社大学 政策学会講演会・地域紛争研究センター共催

「復帰50年、戦後77年、沖縄からみた日本の憲法、安保、地位協定」



前泊 博盛
(沖縄国際大学・大学院 教授)

研究者・ジャーナリストとして沖縄経済、地域振興策、日米安保、基地・軍事経済問題を中心に調査研究。現在は「沖縄返還交渉」、離島架橋による島嶼経済の変化、在沖米軍基地の経済効果などを分析・研究。



2022年12月17日 (土) 10:45-12:15 良心館206

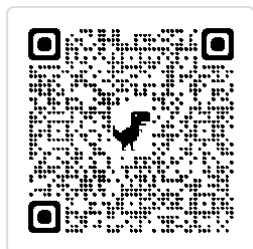
■復帰から50年となる沖縄で何が起きているのか。普天間飛行場の移転に関する事案が長引く一方で、ロシアによるウクライナ侵攻が中台関係に及ぼす影響が論じられている。それに伴って、尖閣諸島に関する報道が時になされる。しかし実のところ、「世界-東アジア-日本-沖縄」の繋がりをどのように理解して良いのか、私たちは途方に暮れる。沖縄理解の共通の「補助線」を意識化しようという試みが、この講演会の第一の趣旨である。

■当日の流れ

- 10:45-10:55：開催挨拶（月村太郎教授）
- 10:55-12:00：講演
- 12:00-12:15：質疑

■申込方法：

下記より申し込みください。QRコードからアクセスできます。
<https://forms.gle/1NPGCkDG173SbYSJ8>



 **同志社大学**
Doshisha University

地域紛争研究センター
Regional Conflicts Research Center

■ 照会先：政策学部事務室 (☎075-251-3107、ji-sei.jm@mail.doshisha.ac.jp)